

平成25年度 第11回教育研究評議会議事録

日 時 平成26年2月19日（水）14:30～16:40
場 所 事務局大会議室、総合研究棟10階会議室
出席者 伊東、石井、碓氷、浅利、前田、柳澤、杉山、東郷、中野、鈴木、
今野、寺村、平岡、梅澤、菅野、西原、酒井、藤井、増田、青山、
塩尻、佐古、星野、中山、糠谷、河合、鳥山、永津、渡邊、田中、
三村、朴、高松の各評議員
欠席者 木村、國宗の各評議員
陪席者 大戸監事、櫻本勝彦氏
中村、佐藤の各学長補佐

I 議事録の承認について

平成25年度第11回教育研究評議会議事録（案）を原案どおり承認した。

II 審議事項

1 国立大学法人静岡大学学則の一部改正及び静岡大学グローバル改革推進機構規則の制定について

鈴木委員から、第10回企画戦略会議（H26.2.5）においてグローバル改革推進機構の設置が承認されたことに伴う学則の一部改正及び同機構規則の制定について、資料1により説明があり、審議の結果、原案どおり承認した。

（意見交換で出された主な意見）○委員 △執行部

- 本機構における役割について、将来的に博士課程及び研究所の観点からも協力できる体制としていただきたい。
- 教育の質の担保、留学生確保の現実性、留学生支援及び本機構の運営に係る予算は確保できるのか。
- △地元企業の現地ブランチが、優秀な学生の確保に協力いただけることとなっており、それにより教育の質も担保できると思われる。人件費については、学長管理枠等を使用し学部負担をかけることなく対応していく予定である。留学生支援及び運営予算についても同様に、地元企業からの支援を予定している。
- 現場の状況を踏まえ、全体のバランスを取りながら、セグメント経費の配分の見直しをお願いしたい。
- △教育組織と教員組織の分離のタイミングで見直しを図ることを想定している。
- 現地に根を張ること、留学生への経済的支援及び日本国内の就職先の斡旋体制を整えることが必要である。

2 静岡大学附属図書館委員会規則の一部改正について

高松委員から、附属図書館委員会における第5号委員の任期を規定することに伴う標記規則の一部改正について、資料2により説明があり、審議の結果、原案どおり承認した。

3 静岡大学大学院学生の学部授業受講に関する申合せの一部改正について

石井委員から、授業科目の不足単位数の確認の時点を明記することに伴う標記申合せの一部改正について、資料3により説明があり、審議の結果、原案（教育研究評議会修正案）どおり承認した。

なお、本申合せの別表については、事務的に各研究科に確認した上で記載することとした。

4 中期計画の変更について

東郷委員から、国立大学改革強化推進補助金事業が採択された場合における、標記計画の変更について、資料4により説明があり、審議の結果、原案どおり承認した。

なお、議長から、同事業が採択された場合において提出する事となる旨の説明があった。

5 平成26年度の年度計画の策定について

東郷委員から、平成26年度の年度計画の策定について、資料5により説明があり、本件については部局において確認のうえ意見を提出し、次回本会議（3月19日）において審議することとした。

なお、同委員から、第2期中期計画期間が平成27年度末までとなっていることを踏まえ、年度計画が達成できるように策定願いたい旨発言があった。

6 経営協議会学外委員候補者について

議長から、任期満了に伴う平成26年度からの経営協議会学外委員候補者について、国立大学法人静岡大学経営協議会規則第2条第1項第4号に基づき資料6により説明があり、審議の結果、原案どおり承認した。

7 平成26年度非常勤講師所要時間数（補正）について

石井委員から、第7回教育研究評議会（H25.10.16）において承認された平成26年度非常勤講師所要時間数に補正があったことについて、資料7により説明があり、審議の結果、原案どおり承認した。

なお、議長から、近年、非常勤講師所要時間数が増加していることについて、今後検討の必要がある旨の発言があった。

8 沼津信用金庫との産学連携に関する業務協力提携について

議長から、本学と沼津信用金庫との産学連携に関する業務協力提携について、資料8により説明があり、審議の結果、原案どおり承認した。

9 ワルシャワ工科大学（ポーランド共和国）との大学間交流協定の更新について

鈴木委員から、標記大学間交流協定の更新について、資料9により説明があり、審議の結果、原案どおり承認した。

10 ブラウンシュバイク工科大学（ドイツ連邦共和国）との大学間交流協定の更新について

鈴木委員から、標記大学間交流協定の更新について、資料10により説明があり、審議の結果、原案どおり承認した。

11 学生の懲戒について

杉山委員から、学生の懲戒について、別添資料により説明があり、審議の結果、かがみ文書の所属の箇所について修正を行うことで、原案どおり承認した。

Ⅲ 報告事項

1 企画戦略会議報告

議長から、第10回企画戦略会議（H26.2.5）について、資料11により報告があった。

2 経営協議会報告

議長から、第8回経営協議会（H26.1.24）について、資料12により報告があった。

3 ミッションの再定義の状況について

前田委員から、学際分野、理学分野及び農学分野に関するミッションの再定義に係る現在の状況について、資料13により報告があった。

4 平成26年度入試出願状況について

石井委員から、平成26年度入試出願状況について、資料14により報告があった。

なお、議長から、今後、出願状況を踏まえた組織改革及び入試改革を検討していく必要がある旨の発言があった。

5 静岡大学及び浜松市における連携講義に関する協定書について

石井委員から、本学と浜松市における連携講義に関する協定書について、資料15により報告があった。

6 釜山大学校（大韓民国）との大学間交流協定の更新について

鈴木委員から、標記大学間交流協定の更新について、資料16により報告があった。

7 電子工学研究所とモルドバ科学アカデミー（モルドバ共和国）との部局間交流協定の締結について

鈴木委員から、標記部局間交流協定の締結について、資料17により報告があった。

8 平成26年度主要会議開催予定について

議長から、平成26年度主要会議開催予定について、資料18により報告があった。

9 国際交流センター特任教員の採用について

鈴木委員から、国際交流センターにおける、人材育成プログラムに係るゴディネート業務等を行う特任教員の採用について、資料19により報告があった。

なお、議長から、本件についての人事の審議については特例であり、今後のグローバル改革推進機構の教員人事については、同機構会議において審議をおこなう旨の発言があった。

10 教員採用等報告について

議長から、人文社会科学部4名、教育学部10名、情報学研究科1名、理学研究科4名、工学研究科5名、農学研究科2名及び大学教育センター1名の教員の採用等について、資料20により報告があった。

IV その他

1 保有個人情報に関する自己点検及び法人文書管理に関する自己点検の実施について

広報室長から、標記自己点検の実施について、資料21により説明があり、期日までの回答について協力要請があった。

2 平成25年度静岡大学広報セミナー「大学改革と広報戦略」の開催について

佐藤学長補佐から、平成25年度静岡大学広報セミナー「大学改革と広報戦略」の開催について、資料22により案内があった。

3 平成25年度FDシンポジウム「わたしたちの授業改善の取り組み」の開催について

佐藤学長補佐から、平成25年度FDシンポジウム「わたしたちの授業改善の取り組み」の開催について、資料23により案内があった。

4 理工系4研究科の大きくくり化に関する文部科学省との意見交換について
議長及び前田委員から、理工系4研究科の大きくくり化に関する文部科学省との意見交換について報告があった。

なお、議長から指摘された事項について、適切に説明していくことが重要との発言があった。

(主な報告内容)

○研究科を専攻に変更すること、教授会の置き方等に従来の組織体制からの変化がなく、融合の形が見られないとの指摘があった。

5 静岡大学農学部農業環境教育プロジェクト「大学生が感じた中山間地域」～農業環境リーダー認定報告会～の開催について

糠谷委員から、静岡大学農学部農業環境教育プロジェクト「大学生が感じた中山間地域」～農業環境リーダー認定報告会～の開催について席上配付資料により案内があった。

以 上